

建設改良計画 令和6年度事業（主要な事業）

	事業名・工事名	事業内容	事業費（単年度）	施工年度 上段（計画） 下段（実施）
①	妙琴浄水場更新 自家発電設備更新工事	自家発電設備 一式	71,500,000円	R5～R25 R5～R7（債務負担行為）
②	妙琴浄水場更新 薬品注入施設更新工事	薬品注入施設 一式	81,961,000円	R5～R25 R5～R7（債務負担行為）
③	下栗浄水場更新 下栗浄水場浄水設備新工事	浄水設備（膜ろ過）更新 一式	0円	R6 R7～R8（債務負担行為）
④	上郷第1配水池更新 上郷第1配水池築造工事	配水池築造 一式	66,802,000円	R4～R5 R4～R6（債務負担行為）
⑤	時又配水池更新 時又配水池撤去工事	配水池撤去 一式 減圧弁設置 一式	11,121,000円 30,448,000円	R6 R6
⑥	沢城中継ポンプ場設置 沢城中継ポンプ場築造工事	ポンプ場築造 一式	74,470,000円	R6～R7 R6～R7（債務負担行為）
⑦	入野中継ポンプ場整備 入野中継ポンプ場築造工事	入野中継ポンプ場築造 一式 工事監理業務委託 一式	308,506,000円 491,000円	R6～R8 R6～R8（債務負担行為）
⑧	風越貯水池耐震補強 震補強詳細設計業務委託	耐震補強詳細設計 一式	9,680,000円	R7～R8 R6～R8（債務負担行為）
⑨	老朽管更新 老朽管布設替工事	高羽町1丁目他 L=3,286m	257,070,000円	R5～R28 R6（R5繰越含む）
⑩	基幹管路耐震化 基幹管路耐震化工事	今宮町4丁目他 L=794m	207,480,216円	R5～R28 R6（R5繰越含む）
⑪	他事業関連 国・県・市道他 他事業関連配水管布設替工事	親田中村線他 L=580m 県道2路線、市道2路線、他	65,615,000円	R5～R28 R6（R5繰越含む）

①②建設改良計画 妙琴浄水場更新整備事業（R5～R25）

妙琴浄水場は昭和45（1970）年から昭和48（1973）年に建設された、浄水処理能力30,000m³/日の急速ろ過方式の浄水場です。当浄水場は、市民の6割以上の飲料水を賄う水道事業の心臓部でありながら、老朽化や耐震性等の脆弱性に加え、近年頻発している集中豪雨等の影響による水道原水の高濁度に対応するため、砂払浄水場や野底浄水場等への補完機能も有しており、最優先で耐震化を伴う更新整備を行う必要があります。

更新整備事業は長期間にわたる事業であり、浄水施設を運転しながらの切替となるため、点検、状態監視を綿密に行い各施設の延命を図りながら更新を進める必要があります。

ステップ1 令和5年度～令和7年度

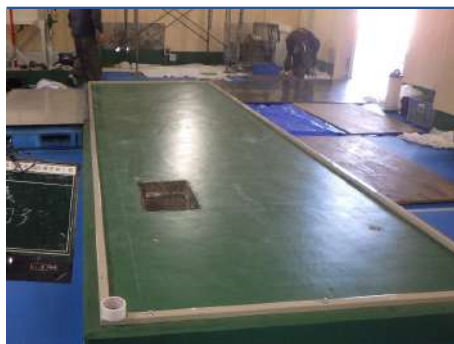
妙琴浄水場の更新工事は10のステップで更新整備を進める計画で、ステップ1は令和5年度から7年度まで3年間で自家発電設備、薬品注入施設の更新工事を行っています。また、ステップ2に向けた施設撤去の詳細設計と、ステップ3の急速ろ過池詳細設計を実施しています。

①自家発電設備更新工事

旧非常用発電機（300KVA）



旧非常用発電機撤去



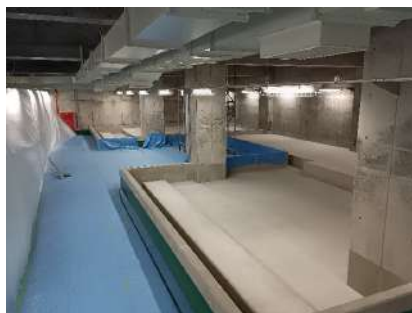
新非常用発電機（500KVA）



②薬品注入施設更新工事

（次亜・PAC・苛性ソーダ）

施行前



注入ポンプ設置状況



貯水槽設置状況



薬品受入れ口設置状況



④⑤建設改良計画 令和6年度に更新工事が完了した事業

④施設の更新（耐震化） 上郷第1配水池

旧上郷第1配水池（更新前）
（容量62.5m³、1池構造）



新上郷第1配水池（R6.6月更新）
（容量420m³、2池構造）



配管室



配水池内部



3

⑤施設の更新（ダウンスizing） 時又配水池

時又配水池（更新前）
1962年建設（2池 66.0m³）



更新後
（撤去完了R7.3月）



減圧弁室（躯体）道路下



時又減圧弁（更新後）



⑥建設改良計画 沢城中継ポンプ場整備事業（R5～R7）

水道事業経営戦略の建設改良計画に基づいて令和5年度に詳細設計を行い、令和6年度から令和7年度まで2年間で沢城中継ポンプ場の建設を行うものです。

沢城浄水場廃止に向けた事業となり、大瀬木高区配水池（妙琴浄水場系）に隣接して、今後更新予定の沢城配水池へ送水するためのポンプ場です。

着手前



着手前



工事完了



工事完了



工事完了



送水ポンプ室



⑦建設改良計画 入野中継ポンプ場整備事業（R6～R8）

入野中継ポンプ場築造工事は、西部山麓ポンプ場と西部山麓配水池の中間点に新たに整備するポンプ場です。
西部山麓ポンプ場から西部山麓配水池まで高低差162mをポンプ送水しており、送水ポンプと送水管の負担を軽減させるため中間地点に中継ポンプ場を建設します。

また、今後整備する入野・大瀬木配水池（仮称）へ送水し、複数施設の統廃合や送配水システムの合理化を進める入野大瀬木配水池関連事業のひとつです。

当事業は、令和6年度から令和8年度まで3年間の工事で入野中継ポンプ場の建設を行っています。

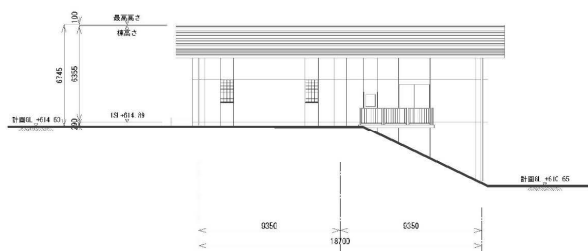
工事状況（令和7年6月）



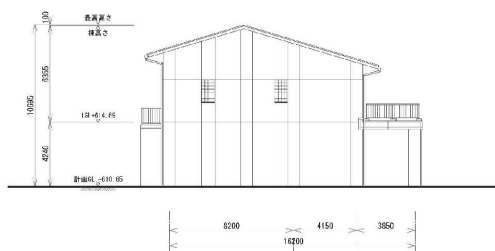
工事状況（令和7年12月）



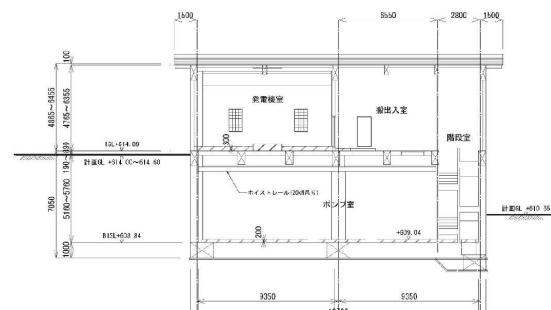
南側立面図



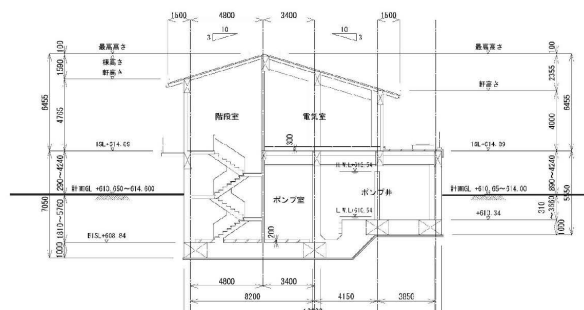
東側立面図



南側断面図



東側断面図

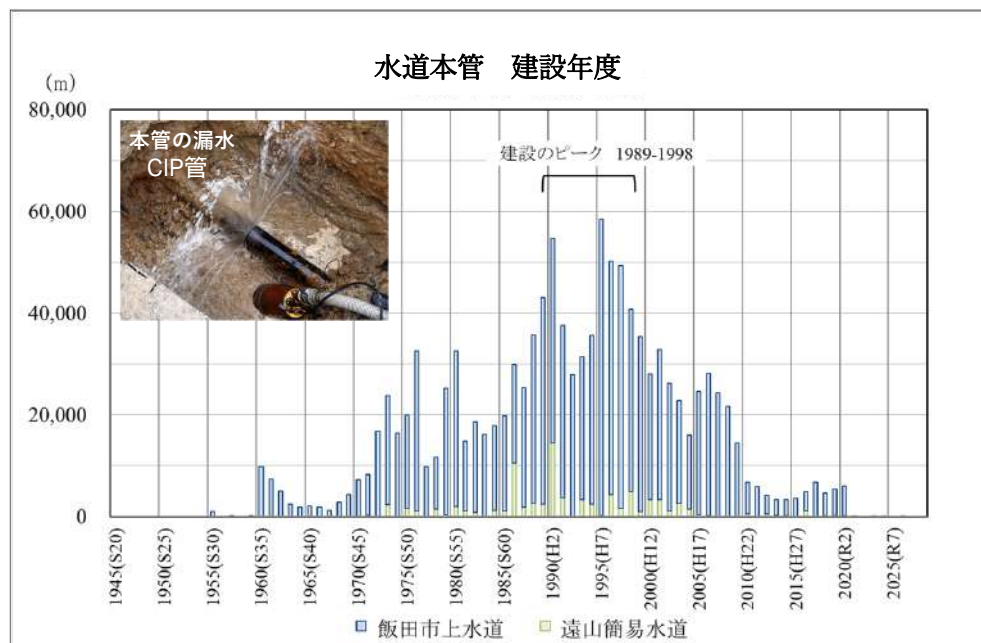


⑨建設改良計画 老朽管布設替事業（R5～R28）

飯田市の水道は1955年（昭和30年）代から本格的に整備が始まり、古いもので60年を経過した管が残存しています。

今後は建設ピークの水道管が一気に法定耐用年数（40年）を超え、老朽化することが想定されるため更新事業を平準化し、老朽管の布設替（耐震化）を計画的に実施していく必要があります。

事業実施にあたっては、物理的評価（実耐用年数）と重要度評価（管分類、口径等）により優先度の判定を行い、順位の高い箇所から施工箇所が集中しないよう計画的に実施しています。



管路の布設替

曙町（GX型） φ75mm



毛賀（HPPE型） φ75mm



水管橋の布設替 大瀬木

工事前上流側（亜鉛メッキ鋼管 φ150mm）



工事後下流側（ステンレス鋼管 φ75mm）

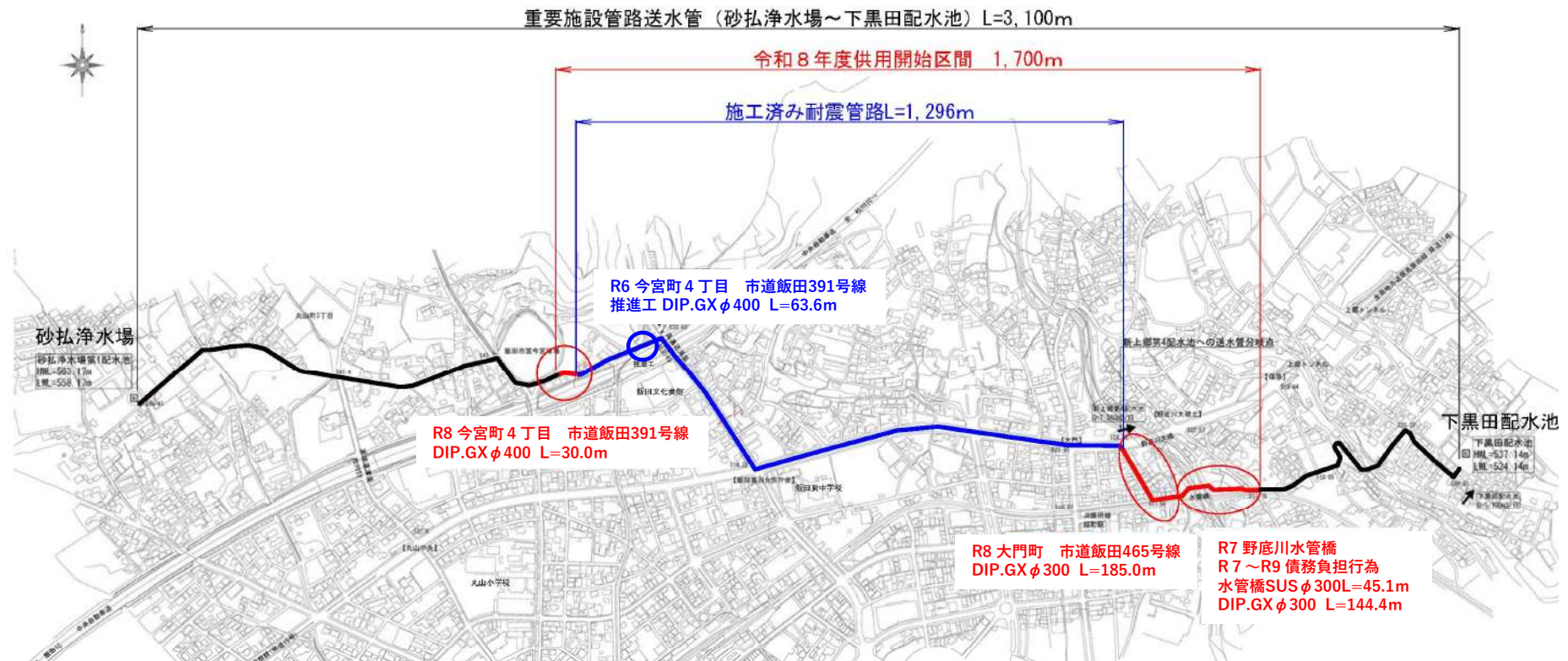


老朽管布設替実績

令和3年度	L=2,838m	令和4年度	L=3,169m
令和5年度	L=2,389m	令和6年度	L=3,286m

⑩建設改良計画 基幹管路耐震化事業 (R5～R28)

基幹管路は水源から浄水場、浄水場から配水池、配水池から配水池を結ぶ重要施設管路（導水管、送水管等）で地震や風水害、漏水などで事故が発生すると大規模な断水などを引き起こす可能性がある管路です。この重要施設管路の耐震化を進めています。



水神橋

アミト 外装が リフレイン管 φ150mm



砂払浄水場から下黒田配水池を結ぶ重要施設管路

松洞川横断（推進工事）GX型 φ400mm



野底川水管橋（更新前）φ400mm



野底川水管橋（工事状況）

